

生活支える配達

新座市立池田小5年

斉藤 永莉 10（新座市）

台風が接近すると外に出ることは少なくなります。でも私は、そんな厳しい状況の中でも働く人たちがいて、その人たちのおかげで生活が成り立っていることを一つのピザを通して学びました。

祖母の家に帰省していた時に、「台風が近づき天気が悪くなったのでデリバリーを頼もう」という話になりました。ピザが好きな私は嬉しくなりました。が、「この天気ではデリバリーができないのでは」と疑問を持ちました。

頼んだ後も不安はありました。だが、チャイムが鳴ると、ドアの前にはデリバリーの人がピザを持っていました。土砂降りの中、びしょびしょにぬれながらも配達してくださったことに感動しました。

自分の嫌なことでも役目を全うするのはすごいと思ったし、それだけで生活が支えられていて、このことを実感しました。